

事例3 学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

「イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」の事例

- 学年 第4学年
- 主な内容 学級での仕事（当番活動や係活動など）を行う意義に関する指導
- 事例のポイント
 - ①キャリア・パスポートを活用した授業展開となるよう工夫する。
 - ②他者の考えを生かし自分の考えを深められるよう、話し合いを重視する。
 - ③自分の頑張りやよさをさらに伸ばすという視点を大切にして授業を展開する。
 - ④学級活動の学習過程において効果的に資料やICT端末を活用する。

1 題材 「自ら進んで」

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、活発に当番活動や係活動に取り組んでおり、創意工夫しながら活動する様子が見られる。一方、与えられた仕事には積極的に取り組むが、自ら仕事を見つけて取り組んだり、よりよい学級生活を目指して行動したりしようとする児童は少ない。

本題材は、活動内容(3)「イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」に関わり、学級の一員として自らの役割を自覚し、その役割を果たすことの意味や大切さについて考え、友達と協働しながら自主的に実践しようとする児童を育成することをねらいとしている。これは、キャリア教育との関連で年間指導計画に位置付けられた題材であり、学級の一員として「なりたい自分」を見定め、自ら目標を決めて実践することにより、来年度、高学年の一員として学校生活をよりよくするために参画する態度や、将来にわたる社会参画意識の醸成につなげることを意図している。

指導に当たっては、児童がこの題材を共通の問題として捉えることができるよう、事前に児童の意識を調査するアンケートや上級生へのインタビューを実施する。その結果やキャリア・パスポートを活用しながら、これまでの成長について振り返り、自己のよさや頑張りを生かして自分に合った具体的な個人目標を立てることができるよう学習過程の各段階において様々な視点から話し合ったり、アドバイスし合ったりして解決策を熟考することが大切である。そうした学習活動を通して、働くことの意義を見いだせるようにしていきたい。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生活するための課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在および将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
・アンケートに取り組むことで、学級での役割や頑張っていることなどについて考える。	・アンケートを通して、自分と学級との関わりや、これまでの頑張りを目を向けられるようにする。	◎今の自分の姿を振り返り、学級の中の自分の役割について考えている。【態】(アンケート・インタビュー活動)

「クラスの仕事について」アンケート 結果 実施人数 25人		
アンケートの項目	はい	いいえ
1 クラスの仕事に進んで取り組んでいますか。	21	4
2 クラスの仕事を協力して取り組んでいますか。	22	3
3 仕事をするときに気をつけていることはありますか。	23	2
<p>【「はい」のみ回答】それは、どのようなことですか。(一部回答のみ記載)</p> <p>〈主に当番活動に関すること〉 ・仕事を忘れない ・最後までやる ・分担を確認する 等</p> <p>〈主に係活動に関すること〉 ・仕事を忘れない ・みんなにお知らせする</p> <p>・楽しんでもらえることをする ・友達と協力する 等</p>		
<p>4 なぜ、クラスの仕事をしなければならないと思いますか。(一部回答のみ記載)</p> <p>・やらなければいけないから ・みんなが困るから ・みんなが楽しくなるから</p> <p>・仕事をすると気持ちがよくなるから 等</p>		


<ul style="list-style-type: none"> ・上級生・家族へのインタビューを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにインタビュー活動を行うことで、題材への関心や話し合う意欲を高められるようにする。 	<p>事例のポイント④ ICT端末を活用し、インタビュー動画の撮影を行う。</p>
---	--	---




<p>【インタビュー内容（上級生へ）】</p> <p>①委員会活動で頑張っていることは何ですか。</p> <p>②仕事をするうえで大変なことはありますか。</p> <p>③仕事をしていてやりがいを感じるのはどんなときですか。</p> <p>【インタビュー内容（家族へ）】</p> <p>①お手伝いをした時に、助かるなどと思う時はどんな時ですか。</p> <p>②お手伝いをした時、どんな気持ちになりますか。</p>	<p>事前に題材への関心を高めることは、より強い決意をもった意思決定につながる。できる限り、アンケート結果のまとめやインタビューなどの調査を児童の活動として取り入れるとよい。</p>
---	---

5 本時のねらい

友達と力を合わせて働くことの意義を理解し、学級の一員としてみんなのためにできることを考えて取り組むことができるようにする。

6 展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
導入 10分 つかむ	<p>1 アンケート結果やキャリア・パスポートをもとに、4年生になって頑張ってきたことについて話し合い、「がんばってきたクラスの仕事」をワークシートに記入する。</p> <p>編 P201 指導計画作成の留意事項(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動や係活動など、学級内の仕事について想起できるように助言する。 ・「がんばってきたクラスの仕事」について、「当番活動」「係活動」「その他」に分類して板書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 ・キャリア・パスポート ・ワークシート 	<p>事例のポイント① キャリア・パスポートを活用する。</p> 
	<p>2 本時のめあてを知る。</p> <p>クラスの仕事をやる意味を考え、これからがんばることを決めよう。</p>	<p>キャリア・パスポートの活用については、題材に関わる記述を読み返し、これまで自分が頑張ってきたことなどを想起する目的で用いるとよい。</p>		<p>めあてや学習過程とともに、本時は一人一人が自分に合った目標を決める時間であることを伝えることで、見通しをもって学習できるようになる。</p>

<p>展開 25分 さぐる</p>	<p>3 これまでの経験から、仕事をするときに気を付けていることについて話し合う。</p> <p>編 P201 指導計画作成の 留意事項 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> みんなのために工夫して働くことや友達と協力するよさについて考え、学級の一員として自分の役割を果たす必要があるという働くことの意義に気付くことができるよう話し合いを進めていく。 	<p>給食当番では、おいしそうによさうように気を付けたよ。</p>  <p>工夫して仕事をするから、みんなが気持ちよく、楽しく過ごすことができるんだね。</p>
<p>見つける</p>	<p>4 上級生（5年生）や家族のインタビュー動画を視聴する。</p> <p>体育委員の5年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝マラソンでの声かけ なかなか言うことを聞いてくれないときが大変 みんなが笑顔で話を聞いてくれるとうれしい <p>生活安全委員の5年生</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動で工夫 朝早く来たり、あいさつが入ってこないことが大変 あいさつをしてくれると、相手も自分もいい気持ち <p>お家の方</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで手伝ってくれど助かる うれしい。家族みんなが笑顔になる 家族の一員として、がんばってほしい <p>動画の内容をまとめた資料を作成し、黒板に掲示できるようにしておくと、視聴後も内容を確認できるのでよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3で気付いた働くことの意義を、上級生の姿から価値づけられるよう補足する。 学校のために進んで働く人になるためには、まずは学級をよりよくすることに貢献していく必要があることをおさえる。 	<p>インタビュー動画</p> <p>編 P201 指導計画作成の 留意事項 (4)</p> <p>事例のポイント②④ 映像資料を活用し、働くことの意義について学級全体で話し合う。</p> <p>5年生は「学校のために頑張っている」って言っていたよ。</p> <p>学校みんなに喜んでほしいから、一生懸命仕事をしているんだね。</p> <p>ぼくも、こんな高学年になりたいな。今から頑張ろう。</p>
<p>終末</p>	<p>5 クラスの仕事の取り組み方について、さらに頑張ったらよいことを話し合う。</p> <p>編 P201 指導計画作成の 留意事項 (2)</p> <p>係の仕事は、1週間の予定を立てるとスムーズにできそうだね。</p> <p>優先順位をきちんと考えることも、大切じゃないかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの成長や伸ばしてきたよさを生かした取組が考えられるよう助言する。 意見は短冊に記入し、当番活動、係活動、その他の3つに分類して掲示する。 	<p>編 P201 指導計画作成の 留意事項 (1)</p> <p>事例のポイント② 小グループで話し合うことで、多様な解決方法を出し合う。</p> <p>◎互いの成長やよさを生かす方法について考え、前向きに話し合っている。 【思・判・表】 (観察)</p> <p>小グループで話し合った後、学級全体で挙げた意見を共有し、「なりたい自分」について追求できるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>6 個人目標を意思決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合っで見付けた取組を参考に、自分の頑張りやよさを生かした意思決定となるよう助言する。 	<p>ワークシート</p> <p>◎話し合ったことを生かして、自分が実践することを具体的な目</p>

10分決める

【個人目標の例】

- ・レク係で、多数決で内容を決めていたので、アンケートをとって少ないリクエストも大切に計画を立てる。
- ・掃除のとき、終わっていない仕事があったら自分からやったり、友達に声をかけたりする。

学級活動(3)で立てる個人目標は、中長期的な目標となることからできる限り具体的な目標となるよう助言する。

標として意思決定している。
【思・判・表】
(ワークシート)

7 決めた個人目標を発表する。

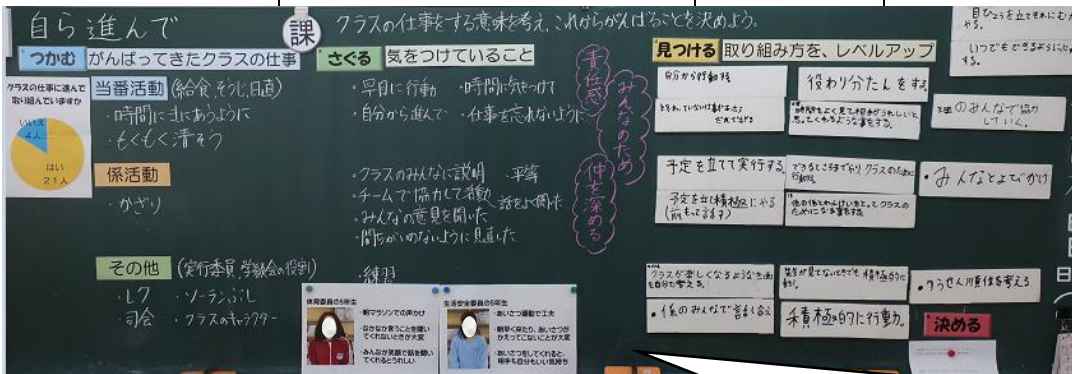
小グループ内で発表し合うことにより、実践への意欲を高め、互いを認め励まし合う態度を醸成する。

- ・友達の宣言に対し、実現が難しそうであったり、容易すぎたりする目標については改善のアドバイスを送るよう助言し、個の課題に応じた内容に修正できるようにする。

8 実践への意欲化を図る。

- ・数名について全体で発表の場をつくり、実践に向けた意欲付けを図るとともに、定期的に振り返っていくことを伝える。

【板書の例】



「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」は授業展開の一例である。題材に応じて一時間の学習過程と思考の流れが見渡せる板書を計画するとよい。

【ワークシート例】

学級活動(3)「自ら進んで」 4年 | 組名: _____

つかむ これまでがんばってきた「クラスの仕事」はなんですか。
バレーボールで協力してボスターカードを作れた事、
僕の仕事を新聞で工夫して書いた事、
もうじけ、おみすみまでキレイに出来た事

さぐる 「クラスの仕事」をやるたびに、気がつけていることはありますか。

見つける 「クラスの仕事」への取り組み方をレベルアップさせる方法を見つけよう。

決める 「クラスの仕事」について、今がんばること(目標)を書きましよう。
・伊賀やアロジエットの人たちに、きき合って、しっかり予定を立てて行動する。
・もうせしめ順位を考えた積極的に行動をし、みんなの役に立つ

※いつ、どこくらい、どうに という視点で具体的に(数字を入れるといい)。

☆振り返り(8)

事例のポイント③
自分の頑張りや意思決定の関連が分かりやすいワークシートを作成する。

☆取り組んでみて

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)				
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた目標に3週間取り組む。 ・帰りの会等で、定期的に振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって努力してきたことを称賛するとともに、今後も継続して努力していけるよう意欲を高める。 	<p>◎自分で決めた目標に粘り強く取り組もうとしている。【態】(観察、ワークシート)</p>				
<p>【振り返りの記入例】</p> <table border="1"> <tr> <td>11/8(金)</td> <td>自分がやらしてもらった素晴らしい仕事を相手にしました。自分も相手に考えいることをやらせてもらってうれしかったです。</td> </tr> <tr> <td>11/15(金)</td> <td>かざり系になったので、みんなをかきまわすことができました。なご思えお礼を作りました。すばやく行動できました。</td> </tr> </table> <p>※取り組んでみて</p> <p>仕事をやって、みんながよろこんでくれるとうれしいなと思いました。これからも、系売っていきます。すばやくやると、後に他の事もできるのですばやくやると、他の事もやれるようになります。</p> <p>振り返り方を考えると、いろいろな表現が相手のことを考えて活動すると、自分も気持ちよくやるよ。これからは、みんなのことを考えてがんばりたい。</p>	11/8(金)	自分がやらしてもらった素晴らしい仕事を相手にしました。自分も相手に考えいることをやらせてもらってうれしかったです。	11/15(金)	かざり系になったので、みんなをかきまわすことができました。なご思えお礼を作りました。すばやく行動できました。	<p>決めた目標と取組の実際に差がある場合は、目標を修正して実践を促すことも必要である。</p> <p>本題材では、毎日振り返ることが難しい目標も予想されたことから、週に一回の振り返りとした。題材の特質に応じて振り返りの方法や期間などは工夫するとよい。</p>	
11/8(金)	自分がやらしてもらった素晴らしい仕事を相手にしました。自分も相手に考えいることをやらせてもらってうれしかったです。					
11/15(金)	かざり系になったので、みんなをかきまわすことができました。なご思えお礼を作りました。すばやく行動できました。					